

## 1630 | 教育方法

2 単位（通信授業 1 単位、面接授業 1 単位）

三澤一実教授、北沢昌代講師

## 授業の概要と目標

教育計画は教育の理念や目標を具現化し、実践可能な授業としての形を作ることである。その場合、指導方法についての研究や、題材論、素材や用具についての知識、教育環境の整備など多岐に渡る視点が必要となってくる。ここでは、授業を成立させる要素についての理解を深め、美術教育法や工芸教育法、情報教育法などを通して構築した教育の理念を効果的に実践するための方法を研究する。具体的には学習指導案や年間指導計画表、週案の考え方などを学習し、模擬授業へと発展させる。

## 課題の概要

## ○面接授業課題

「それぞれの履修科目に応じた学習指導案を作成し、模擬授業を行うこと。」

学習意欲こそが基本的な学力であるとする視点に立ち、各題材の導入部分を中心とした模擬授業を実施する。

## ○通信授業課題 返却用の封筒を同封すること

「生徒の主体性を生かした年間指導計画と、その中の一題材についての学習指導案及び、その題材で用いるワークシートを作成すること。」

現代の開かれた学校教育の理念を生かし、学習指導要領に基づいた発展性のある授業計画を考える。

面接授業内で、本課題の解説を行うとともに課題説明プリント、および課題用紙を配布する。

\* 課題については学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』を必ず参照すること。

\* 年間指導計画、学習指導案、ワークシートを一括して提出すること。

## 授業計画

面接授業



通信授業

## [面接授業]

教育計画の意味や目的を理解し、その具体的な作成方法を学習する。またそれぞれの状況に応じた指導方法を研究し、指導力の育成を図る。

第 1 日 教育計画の考え方、各種指導案の研究、教育環境の設計。

第 2 日 学習指導案の制作。

第 3 日 模擬授業による討議、講評。

## [通信授業]

面接授業での学習をもとに、武蔵野美術大学出版局刊『美術教育の題材開発』、各学習指導要領解説を中心として、学習意欲を引き出す主体的な学習活動を基本とした教育方法を研究する。

・『美術教育の題材開発』第 2 章・3 章 授業の組み立てと学習指導・題材開発研究

・各学習指導要領解説

## 成績評価の方法

面接授業課題及び通信授業課題を基に評価する

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 2～4 年次

[履修条件] 教職課程に登録していること。

[備 考] 教職課程履修 2 年目以降の履修が望ましい。

スクーリング時に、受講人数を制限する場合がある。

## 教材等

教科書：三澤一実監修『美術教育の題材開発』（武蔵野美術大学出版局 2014 年）

（美術・工芸免許状登録者）文部科学省『中学校学習指導要領解説 美術編』（日本文教出版 2008 年）

文部科学省『高等学校学習指導要領解説 芸術編 音楽編 美術編』

（教育出版 2009 年）

（情報免許状登録者）文部科学省『高等学校学習指導要領解説 情報編』（開隆堂出版 2010 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）

※スクーリング時にセット販売

（美術・工芸免許状登録者）文部科学省検定済中学校教科書『美術 1』、『美術 2・3』（開隆堂出版）

文部科学省検定済高等学校教科書『高校美術 1』、『高校美術 2』、『高校美術 3』（日本文教出版）

文部科学省検定済高等学校教科書『工芸 I』、『工芸 II』（日本文教出版）

（情報免許状登録者）文部科学省検定済高等学校教科書『社会と情報』、『情報の科学』（日本文教出版）

大坪圭輔、三澤一実編『美術教育の動向』（武蔵野美術大学出版局 2009 年）